

熊本地震支援のカンパにご協力をお願いします。



2016年4月14日、16日の2回、最大震度7の地震が熊本を襲い、熊本県全世帯数の25%にあたる18万棟の建物が損壊しました。

現地ではまだ大部分の家屋が倒壊した当時のままの姿で残されています。仮設住宅やみなし仮設で住まいは確保されましたが、地震によって仕事を失った方や、生活の不安を抱える方も少なくありません。地域のコミュニティが失われ、孤立する方も出てきました。

震災直後の緊急支援から、生活再生のための「人による人への支援」へと、現地のニーズに合わせた支援を継続していきます。多くの方のご協力をお願いします。



**まだまだ支援が必要です。
皆さまのご協力をお願いします。**

グリーンコープ生協くまもと
理事長 牧 幸子さん

これまで支援を続けてきて、たくさんの被災者の方に出会いました。出会えば出会うほど、抱えていらっしゃる問題の大きさを思い知らされます。困難を抱えた方々には、生活再生事業などグリーンコープの支援や、同じ思いの他団体とのネットワークを活かして適切な支援につなげるお手伝いをしています。

困難を抱えた方は、地域で孤立しがちです。そういった方のお声を聞きながら、今後は、仮設住宅やみなし仮設の皆さんの地域で、「そこに行けば楽しいことがある、話を聞いてくれる人がいる」と思ってもらえるような取り組みを組合員で企画し、定期的に行っていきたいと考えています。

これからも多くの方と出会い、つながりながら、支援を続けていきます。

4月15日から緊急物資支援を開始

4月25日には、現地に「熊本地震グリーンコープ災害支援センター」を立ち上げ、組合員から寄せられる情報をもとに、被災した皆さんのニーズに合わせた支援を行ってきました。

炊き出し・弁当支援



グラメンッセ熊本にて

オールグリーンコープの組合員が駆けつけ、車中泊の皆さんへの弁当や炊き出しを4月末から8月末まで毎日続けました

子どもたちへの支援



海岸でのマテ貝とりのようす

野外でのびのびと子どもたちが遊べるように楽しい企画を考えました

これからも必要な支援を続けます。

人と人をつなぎ、元気になってもらうために

コミュニティづくりを支援

仮設住宅やみなし仮設に移ることで、それまでの地域でのつながりが絶たれてしまった方もいます。新しいコミュニティづくりのお手伝いをしています。

●もちつき大会



大人も子どもも一緒になって、もちつきを楽しみました

●バーベキュー



たくさんの住民の皆さんが参加して、顔合わせもできました

生活再建に向けて

グリーンコープの家計相談支援員や生活再生相談員が、罹災に伴う支援金や補償金の申請手続き、生活再建のための相談など、被災者に寄り添って家計管理のサポートをしています。被災者支援活動について、2016年11月に熊本県より感謝状をいただきました。

家計相談支援員の派遣

熊本県内8市町村へ 延べ263人(2016年5月～12月)

生活再生貸付(5月19日から低利での貸付開始)

相談件数 335件
貸付申請 58件
貸付 30件

子どもたちへの支援

●えほんバス 他団体に協力いただき、子どもたちに楽しい時間を



買い物困難地域へ元気カーでの移動販売

●元気カー 買い物だけでなく、地域の皆さんが集まり語らう場に



熊本地震支援募金

申込番号 002 一口 200円 何口でも
003 一口 500円 申し込みます。

申込番号の数字欄に口数を記入してください。

※【例】申込番号002の数量欄に「2」と記入された場合は、400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

これまでの募金状況 (2017年1月26日現在)

組合員からのカンパ	9204万4290円
グリーンコープの生産者・メーカーなどからのカンパ	4760万0261円
これまでに支援費用として使った金額	9436万4058円